—橘　三朗—

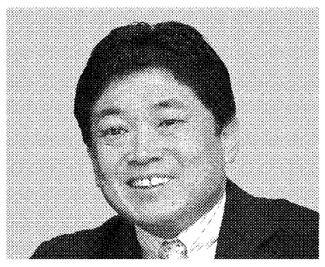
企業の志魂（こころ）

歴史に人あり　人に志あり　企業に魂あり

2011年 江と戦国群雄列伝

アシザワ・ファインテック㈱

代表取締役社長　芦澤　直太郎氏
千葉県習志野市茜浜1・4・2

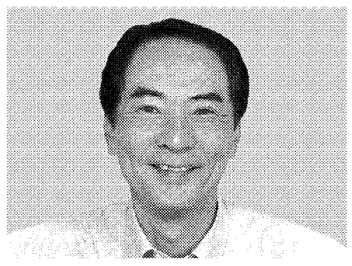


直江兼続は卓越した軍略と政治手腕が秀吉から高く評価され、召し出されて直臣の誘いを受けたほどの逸材。が上杉景勝への忠義からこれを断った天下の名宰相だ。秀吉死後、政権奪取を図る家康が景勝に詰問したのに対し、「直江状」と呼ばれる書状で家康を挑発した気概の漢である。

1903年(明治36年)創業という歴史を踏まえながら、常に時代の最先端で未知の領域に挑戦するプロ集団。世界最高レベルの粉砕・分散技術を駆使し、粒子の微細化に取り組むモノ作り企業との信頼関係は強い。社内にあっても若い社員が持てる能力をフルに発揮できる体制が整っており、伸びしろも十分だ。

㈱ポンパドウル

代表取締役社長　三藤　達男氏
神奈川県横浜市中区元町4・171

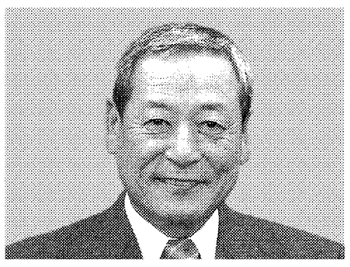


前田慶次は加賀前田家の一族でありながら連なるを良しとせず、腹臣の強者三名を部下として各地を転戦した。「荒馬松風を手なずけてよく衆を蹴散らす。その戦力は超人的」と敵側から畏怖された。戦国きっての豪気な"傾き者"であり、常識に捉われない時代の先覚者であった。

1969年(昭和44年)に横浜元町で生まれたベーカリー。焼きたて、豊富な品揃えのパンで「誰も追いついてこられない世界」を目指した。当時としてはまさに異色の先覚者だった。それが今、全店舗に粉から仕込む工房を併設する「オンプレミス」方式で全国展開し、各地で圧倒的な人気を誇る成長企業となった。

㈱東光システムサービス

代表取締役社長　小林　俊夫氏
東京都品川区平塚3・11・3

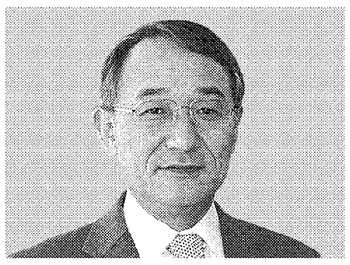


武田信玄の戦法の基本は「風林火山」の旗が示すとおり、孫子の兵法にあった。"勝兵はまず勝ちて然る後に戦いを求め、敗兵はまず戦いて然る後に勝ちを求む"が如く、綿密に戦略を練り、適材の武将を選び、勝つべくして勝ちを重ねていった。それが常勝武田軍団の強さの原点である。

空の旅が安心・安全なのは、"まず勝ちて"(万全の整備・点検)、然る後に飛んでいるからだ。同社はその"勝ち"の一端を担っているプロ集団。客室清掃業務・汚水交換業務・給排水業務という地味な部門だが、航空機の地上における支援の一部として責任は重い。ゆえに日々研鑽を積み、適材の育成にも力を注いでいる。

オー・エイ・エス㈱

代表取締役社長　海野　正氏
東京都千代田区岩本町2・3・3

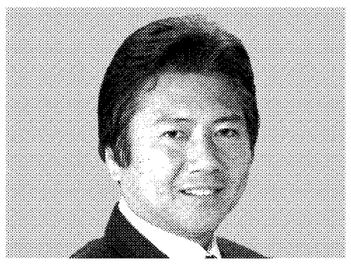


板垣信方は武田王国建国の第一級の功臣であり重鎮。暴君信虎を追放して晴信(信玄)擁立という荒業は、信方の人望と統率力なくして成り得なかった。若き主君のもつ才覚を信じ、励まし諫言もしながら"武田"の礎を築きあげたのである。信方の一念が武田軍団の強さの秘訣だった。

1974年の設立から37年の歴史を刻んだ業界の重鎮。ソフトウェア開発、ソフトウェア・パッケージの企画・開発・販売からWEBシステムの開発・企画・構築・運営、システムインテグレーション等、ITのもつ才覚と将来性に魅かれたエンジニアリング集団だ。念ずれば花咲く、の気概で豊穣な企業文化の構築に邁進。

㈱パーフェクトアイズ

代表取締役社長　山本　浩史氏
東京都港区赤坂2・14・5

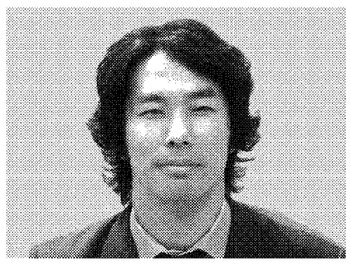


真田幸村は家康をも恐れさせた国士無双の将。大坂冬の陣で、大坂城の南側に「真田丸」と呼ばれる出城を構築し、圧倒的戦力の徳川軍と一歩も引かぬ戦いを続けた。中でも真田十勇士という個性豊かで、優れた武勇を持った家臣が縦横に活躍し、「真田日本一の兵」という伝説を生んだ。

旅をテーマにグローバルビジネスを展開する極めつけ山本流兵集団。中でもイタリア、フランスにおいては「日本一の兵」という伝説をもつほどの敏腕企業だ。ホテル、食事、旅行日程…すべてに気が配られ、オーダーメイドの知略が満載されている。旅をする人の個性やニーズに合わせた満足と安心で評価が高い。

㈱コネクティ

代表取締役社長　服部　恭之氏
東京都港区虎ノ門2・6・4

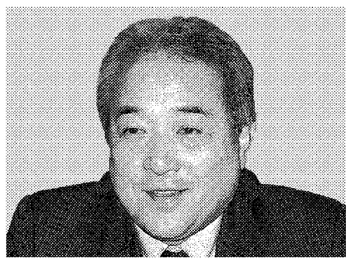


山本勘助は軍配術、築城術に長けた信玄の補佐役であり、帷幄にあっては常に信玄の傍らで頭脳として活躍した。諸国から情報を収集し、各大名の動き、戦力などを詳細に分析しながら上洛への作戦を練ったのである。戦国の世で情報を最重要視し、戦術に活かした極めつき先覚人だ。

ニューベンチャーコンテストで数百のエントリーから唯一選抜されて誕生した生まれながらにしての俊英企業。最新のインターネットテクノロジーを世界中の企業に供給するテクノロジープロバイダーだ。社員全員をフェロー(専門性の高い仲間達)と定義し、プロフェッショナルとしての情熱と技術を研いでいる。

ファーストゲート㈱

代表取締役社長　土肥　猛氏
東京都台東区下谷1・13・6

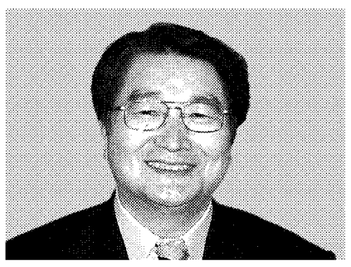


真田昌幸は少年の頃から武田信玄に小姓として仕え、同僚の曽根内匠と共に信玄をして「わしの両眼の如し」と言わせた俊英。信之、幸村という息子二人を鍛えあげ、双方とも名だたる武将に育った。関ヶ原前夜、秀忠軍の西上を阻止した知略、軍略は、まさにその面目躍如たるところ。

半導体製造装置、CMP加工サービス、検査装置、装置メンテナンス…等の戦場で、各取引先から「わが社の眼」として、その情報力と先見性が高く評価されている。進化し続けるエレクトロニクス業界、半導体業界における知略派企業だ。FAST(早い)GATE(道)の社名そのままに行動も速やかで志も熱い。

㈱システムエグゼ

代表取締役　佐藤　勝康氏
東京都中央区新川2・1・5

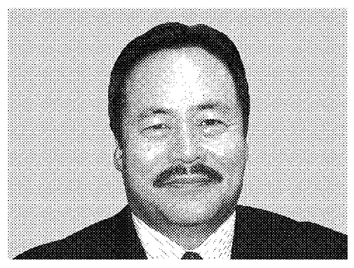


武田信繁は父信虎が兄信玄を疎んじて家督を譲ろうとしたほどの俊秀。が信繁は信玄を慕い、君臣の道を守って尽くした。信玄の良き補佐役として軍略、識見とも優れ、稀なる名将と言われ信玄と並び称された。真の副大将なり…と家中の人望を集めたが驕ることなく先陣を駆けた。

得意とするデータベース技術を基に自社開発製品を提供。監査製品を始めテストデータ生成・マスキング製品、マスタメンテナンスまで、重要な情報を扱うデータベースの会心作として評価が高い。またセキュリティ対策や各種ソリューションなど、業界でも稀なる俊秀技術集団として不動の地歩を固めている。

ミールソリューションズ㈱

代表取締役　横田　史朗氏
東京都中央区京橋2・7・14

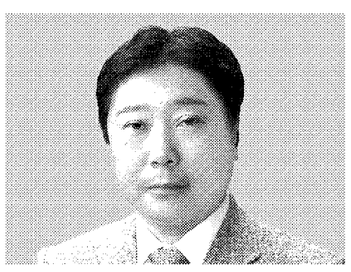


今井宗久は信長の勢力の強大化とともに自身も大きく飛躍した辣腕政商。裸一貫から身を起こして堺会合衆の仲間入りを果たし、いち早く信長の将来性を確信して全財産を賭けた。信長は堺衆を統率して、織田軍団の軍需物資供給の中心的商人に宗久を指名、一気に上昇気流に乗る。

Web to Printを始めとする、ドキュメントソリューションのリーディングカンパニー。「お客様の欲しがるものを提供するのではなく、喜ぶものを提供するために…」という創業以来の精神を貫き、時代の趨勢をも味方につけて着実な成長を続けてきている。ドキュメントにこだわり技を磨き、先進したゆえの飛躍と言えよう。

㈱タカ・ファーストヴィレッジ

代表取締役　富井　善明氏
東京都品川区東五反田2・9・1



高坂昌信は勇猛ではあったが猪突せず、合理性を重んじた武田騎馬軍団随一の作戦家。合戦に際してあらゆる情報を集めて分析、検討し、決して無理押しや一か八かの強引な戦法を取らなかった。「高坂参戦ならば長篠合戦の行方は違っていた」と言われたほどの逸材でもあった。

保険調剤取扱店『サラダ薬局』を五店舗(戸越銀座本店、東なかのぶ支店、豊町支店、国府台支店、戸越支店)運営する健康づくりのパートナー。地域社会にしっかりと根を張り、心の通う温かい対応で暮らしと町に欠かせない存在となっている。専門知識と思いやりの心で接する社員一人ひとりの努力の賜物に他ならない。

㈱インテリボイス

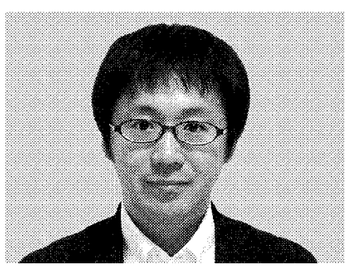
代表取締役社長　中村　健氏
東京都千代田区隼町2・13

呂宋助左衛門は堺の納屋衆(倉庫業者)で、天正年間から海外貿易を営み、文禄二年にルソン島へ渡航。翌年帰国して、生きた麝香鹿二頭などを秀吉に献上した。喜んだ秀吉は持ち帰った壺五十個を千利休と共に高価をつけ、大名たちに売り捌いてくれた。ここから驚異的な出世が始まる。

「音声」をテーマとし時代に先駆けた技術で、音声対話システムやVoIPをリードしてきている俊才カンパニー。人に、社会に、未来に、もっと快適で自由なコミュニケーションを実現するため、常に進化した技術を探究しその提供に余念がない。「自主独立」「独自」にこだわり続けるのも、信念と技術への確信からだ。

㈱コンバージョン

代表取締役社長　外池　直人氏
神奈川県横浜市中区元浜町3・21・2

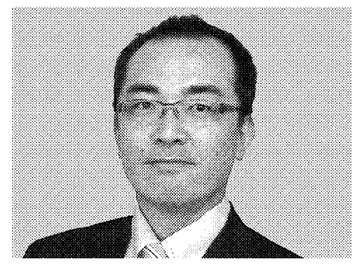


武田勝頼は信玄の四男ながら母が名門諏訪頼重の娘という良血であり、武田家中でも後継の期待を集めた。それに応えて勝頼も若き日から豪勇を謳われ、書物をよく読み、人柄も実直で家臣から領民まで慕われていた。一時、信玄在世中よりも勢威を誇ったほどの将器でもあった。

人とITシステムの間を快適な環境で結ぶ21世紀型の将器。企業にとって複雑で難解なITシステムと顧客との間に入り、様々な課題の解決や改善を行って、運用のしやすい環境へとコンバートするのがその武門の誉れだ。常に最新の技術を評価し取り入れ、オリジナリティあふれるサービスを創造している。

㈱コンフォートスペース

代表取締役　八木　健一氏
東京都中央区日本橋兜町11・11

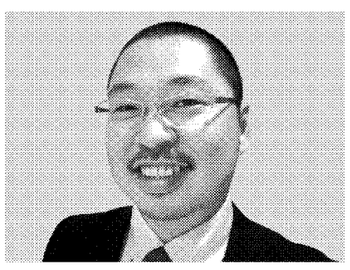


木村重成は大坂冬の陣で佐竹軍・上杉軍と交戦し、今福・鴫野において武勲を立てた若大将。講和の正使として岡山の徳川本陣に乗り込み、秀忠から誓書を受け取ったが、その堂々たる進退は敵味方から絶賛された。首級の頭髪に香がたきこめられて覚悟のほどが偲ばれた武人である。

一件一件の案件に対して、それこそ"兜に香をたき込める"が如くの真剣さと前向き指向の職人企業。店舗、事務所、病院、住宅等の設計及び施工から、内装工事、各種建設関連工事までオールマイティな対応を展開している。中でも商業店舗における企画力、デザイン、迅速機敏な工事進行は業界卓越と評判だ。

㈱スタンダードマーク

代表取締役　時数　賢司氏
東京都千代田区西神田2・7・4

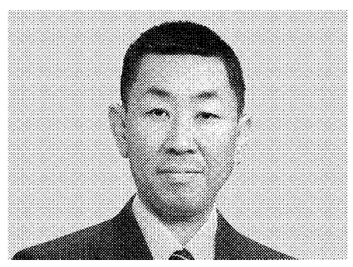


馬場信房は高坂昌信、山県昌景と共に武田の三将といわれた豪勇。武田軍の行くところ常にその先陣にありながら四十余年間負傷したことがなかったという。信玄の死後は勝頼を一心に支え、新たな武田王国の建設に努めた。最後の最後まで武田武士の矜持と気概を貫いた好漢だ。

島根大学医学部附属病院の小児センターに"ミッフィー"の絵本の作者である、ディック・ブルーナ氏のイラストを使用した内装デザインを施工。子どもたちの心を癒す環境の創造として、内外から称賛を浴びたメディカルマネジメントの俊英だ。人や社会のために、地球のために、Standardを世に送り出すの意気高し。

石川金網㈱

代表取締役社長　石川　幸男氏
東京都荒川区荒川5・2・6

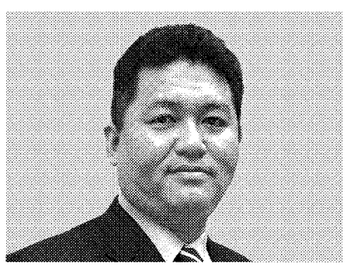


柳生宗矩は柳生新陰流の創始者である宗厳の継承者。父は家康の、宗矩は秀忠の剣術指南役として仕え、徳川幕府の中枢に重きをなした。秀忠から家光への政権移行期には松平伊豆守、春日局と共に最高決定機関を形成。総目付という要職に就いて諸大名を監察して幕府の安定を図った。

大正11年創業以来の信用と実績を持つ金網の専業メーカー。大量生産から多様化したニーズに対応しての「多品種・少量生産方式」への転換も行い、常に最先端のテクノロジーを駆使した高品質・高精度の製品づくりに努めている業界白眉だ。歴史に甘えるだけではなく、中国を始めとする海外への進出意識も高い。

東京プロビジョン㈱

代表取締役　都倉　健太氏
東京都立川市錦町3・2・25

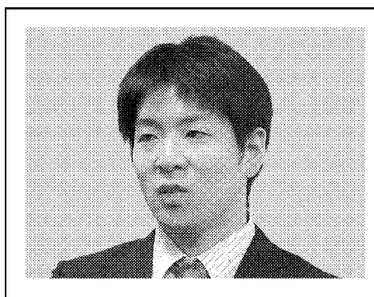


山県昌景は無敵を誇った武田軍団の万能武将。合戦だけでなく内政、外交などあらゆる面で能力を発揮し、武田王国の興隆に貢献した。勇猛ぞろいの武田軍にあっても、その果敢な戦いぶりは軍を抜き、信玄臨終の際も枕元に呼ばれ「上洛せよ」と後事を託され、勝頼の後見となる。

保険会社のベテランOB・OGが中心となって構成されている保険のプロフェッショナル集団。損保全般から生保全般、FP相談、セミナー開催まで、まさに保険の万能武将として信頼が厚い。勇猛ぞろいの業界にあっても、同社の質の高いサービスと真摯な姿勢は「任せて安心」の声を呼び、着実で健全な上昇気運だ。

リテラス㈱

代表取締役社長　今井　寛史氏
東京都千代田区外神田4・7・5

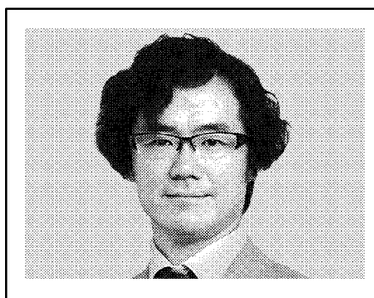


森蘭丸は気難しい信長をして「その目配り、気配りと知勇、十万石の器なり」と称賛された俊英。信長は蘭丸を片時も側から離さず、部将の配置から城づくり、敵将の性格分析まで指南した。蘭丸もその期待に応え、兵法を学び中国古典などの教養も磨き、若齢ながら重きをなした。

ITでベンチャー・中小企業を"照らす"、地域社会を"照らす"、生活の安全を"照らす"という、ITで時代を照らす俊英。経営・業務改善から新規事業支援、イベントポータルサイト、VCAセキュリティ・マーケティングまで、ITソフトの制作会社として培ってきた情報・ITリテラシーを活かし目配りと知勇で信用拡大。

㈱シャノン

代表取締役　中村　健一郎氏
東京都港区虎ノ門1・16・16

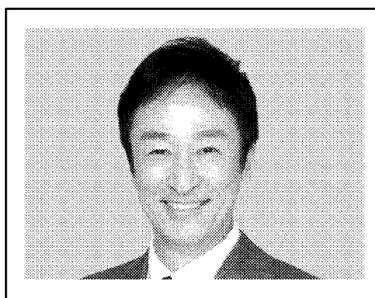


島井宗室は天下人となった秀吉から「武士にならぬか」と問われて「我が望みは玄界灘一帯」と答えた海の大名たる快商。専制君主の秀吉の権威に対して、いささかも屈しない九州豪商の壮大な気性と、商人としての自負、たくましい反骨精神をもっていた希代の戦国商人である。

クラウド・コンピューティングの技術をコアに、企業のマーケティング活動をサポートする製品・ソリューション・サービスを提供。イベント・セミナー運営やマーケティング業務の効率化・自動化や、見込客管理の最適化などを実現して上昇軌道の一途だ。国内外の超一流企業にも数多く採用されており、信頼の質も高い。

㈱セールス技術研究コミュニティ

代表取締役会長　伊場野　和夫氏
東京都港区赤坂7・7・11

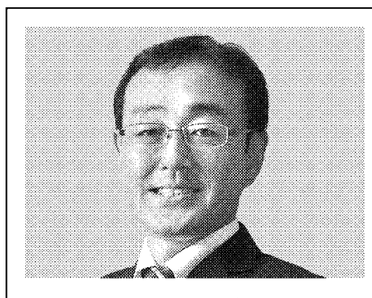


高山右近は利休七哲の一人に数えられ、茶の湯にも堪能だった戦国屈指の教養人。秀吉がキリシタン禁教令を発したにもかかわらず棄教に応じず所領を没収された。がその知勇を惜しんだ前田利家に匿われ、関ヶ原合戦で奮戦。前田家の恩義に武士の魂で応えた気骨の名将である。

「マネジメントとマーケティング・トレーニングを合体させた研修スタイル」を特色とし、クライアント向けにオーダーメイドで研修プログラムを制作・提供している。大手生命保険会社や金融機関を始め、取引先からその"知勇"に対する信頼は厚い。研究開発型の研修コンサルタント会社ならではの先進性と実践力だ。

アミエル税理士法人／㈱コア・コンサルティング

代表取締役　留目　津氏
神奈川県横浜市港北区新横浜3・18・5



池田恒興は明智討伐の後、清洲会議で柴田勝家、秀吉、丹羽長秀とともに四宿老の一人に挙げられ大坂城主となる。勝家とは信長在命中からの戦友であり、その剛直で誠実な人柄に魅かれていたが、「次の天下人となれば秀吉しかない」と決断。賤ヶ岳合戦で秀吉に与し軍功を挙げた。

税務調査、節税対策から資金調達、経営計画、売上アップのサポートまで、企業経営者の懐に入り込んで同じ目線で考え、戦略を練る…というキメの細かいサービスを提供。「次の時代」に備えて、何が必要で何を目指すかをコンサルティングする頼れる宿将だ。国際会計、海外進出サポートプロジェクトも進行中。